

日本河川・流域再生ネットワーク <http://www.a-rr.net/jp/>  <https://www.facebook.com/JapanRRN>

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。（Since 2006）

目次

	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ JRRN 会員寄稿記事	4
➤ 会議・イベント案内 & 冊子等の紹介	6

JRRN 事務局からのお知らせ (1) *JRRN Activity Report*

小さな自然再生普及促進プロジェクト－今年度全4回「小さな自然再生」現地研修会のお礼

全国より研修会開催希望地を公募し、今年度は10月～12月に全4回の「小さな自然再生」現地研修会を開催させて頂きました。

第28回研修会 in 静岡県・芝川では「**NPO 法人ホールアース自然学校**」と、第29回研修会 in 静岡県・庵原川では「**いはらの川再生PJ会**」と、また第30回研修会 in 福井県・はす川流域では「**三方五湖自然再生協議会**」とともに現地研修会を企画し、参加者とともに現地と座学で学び合うことができました。また第31回研修会 in 滋賀県内・琵琶湖流入河川では、これまで滋賀県内で取組まれてきた複数の小さな自然再生の現場を専門家の案内で参加者とともに巡り、技術面や進め方など様々な工夫やノウハウを学びました。

今年度の全4回研修会の延べ参加人数は、講師や運営スタッフも含めて昨年度と同様の約200名となりました。当日の様子は以下のページよりご覧頂けます。

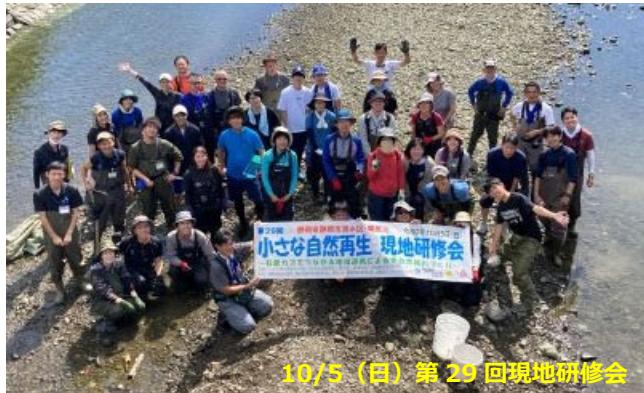
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/>

各研修会で得られた成果は、当日参加できなかった方々にもご活用頂けるよう、今年度末までに開催報告書としてとりまとめ、以下のページにて公開させて頂きます。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/category/jrrn-lecturereport>

なお、本現地研修会は、公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けて開催させて頂きました。研修会開催にご協力頂きました関係団体の皆様に心から御礼申し上げます。

(JRRN 事務局・和田彰)



10/5 (日) 第29回現地研修会



10/21 (火) 第28回現地研修会



11/3 (月) 第30回現地研修会



12/6 (土) 第31回現地研修会

JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及促進プロジェクト－「小さな自然再生サミット 2025 京都大会」開催報告

水辺で取組む小さな自然再生の更なる深化と拡がりに向けて、全国で取組む仲間が集い、相互交流を通じて今後の新たな活動や協働に展開していくことを目的に、「小さな自然再生サミット 2025 京都大会」を 2025 年 12 月 7 日（日）に京都府宇治市の京都大学宇治キャンパス・宇治おうばくプラザにて開催致しました。

当日の写真や議論の成果を取りまとめた開催報告書は今年度内に以下のウェブサイトで公開致しますので、もうしばらくお待ちください。

<https://www.rfc.or.jp/collaboriversummit2025.html>

(JRRN 事務局・白尾豪宏)



【日時】 2025 年 12 月 7 日（日） 10:00～17:00

【場所】 京都大学宇治キャンパス 宇治おうばくプラザ

【主催】 小さな自然再生サミット実行委員会

【後援】

国土交通省、環境省、公益財団法人リバーフロント研究所

【協賛】

いであ株式会社、株式会社伊藤園、株式会社ウエスコ、王子ホールディングス株式会社、株式会社 KANSO テクノス、共和コンクリート工業株式会社、株式会社建設環境研究所、株式会社建設技術研究所、株式会社ジャッカル、一般財団法人セブン-イレブン記念財団、株式会社デプス、日本工営都市空間株式会社、パシフィックコンサルタンツ株式会社、株式会社北海道技術コンサルタント ※五十音順

【参加者】 約 200 名

【参加費】 無料

【プログラム】

10:00 サミット開会 （実行委員長挨拶、来賓挨拶）

10:15-12:40 全国事例発表 （4 分×30 団体）

12:40-13:40 昼食 & 事例発表者ポスター交流

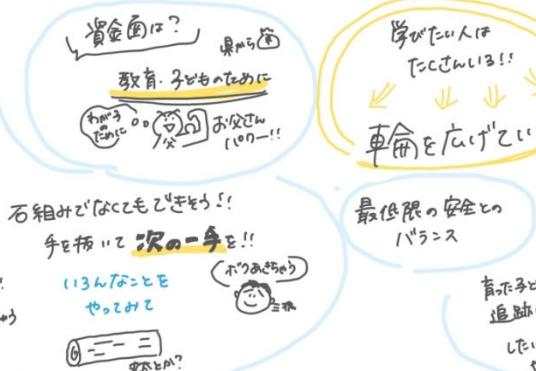
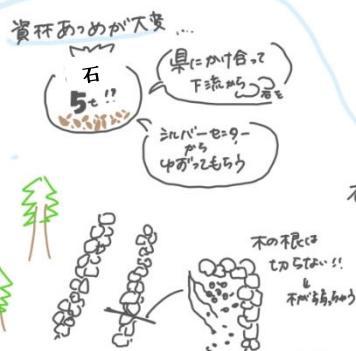
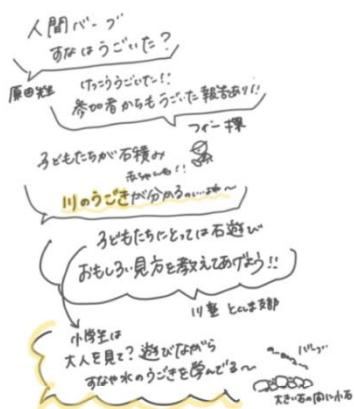
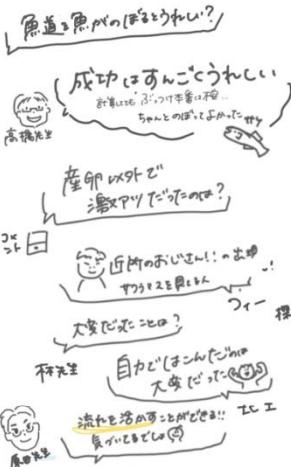
13:40-16:00 パネルディスカッション

～「小さな自然再生」の次の一手を考える～

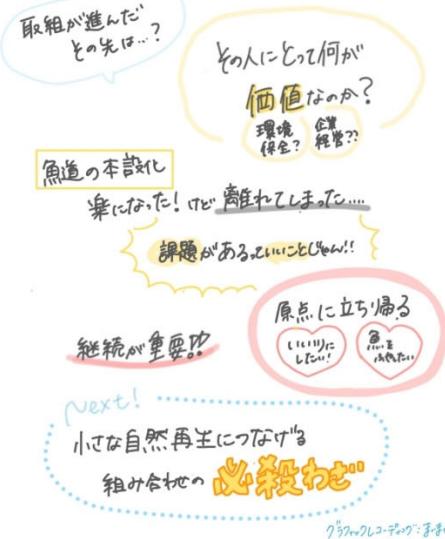
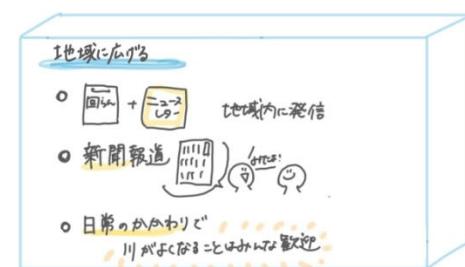
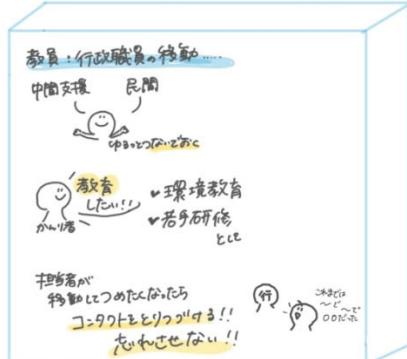
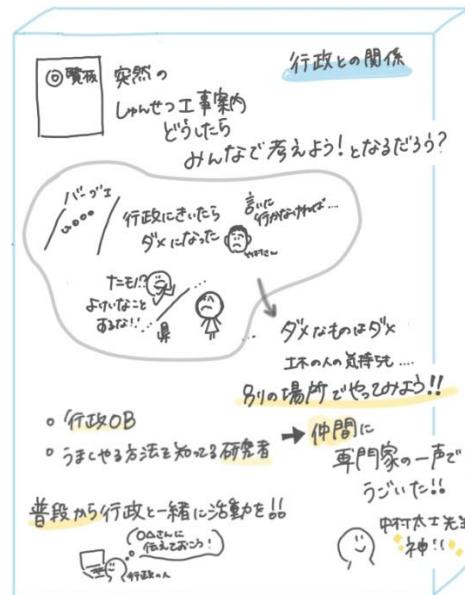
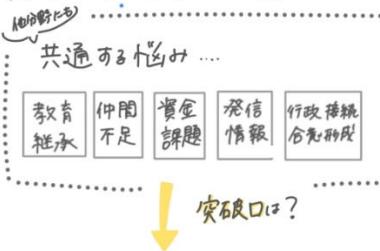
16:00-17:00 茶話会



パネルディスカッション①



パネルディスカッション②



パネルディスカッションのグラレコを作成頂きました！ by 清水麻依さん (パシフィックコンサルタンツ株式会社、滋賀県立大学 滝研卒業生)

12月



あの日のあの川 リレー日記 ~第83話~



あの日のあの川
リレーDiary

みなさんほどこの川でどんなことをした記憶がありますか？幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

第83話主人公 戸田一歩

(筑波大学大学院 システム情報学研究科 構造エネルギー工学専攻 白川（直）研究室『川と人』ゼミ)

(□川ガール・■川系男子)

(出身地を流れる川：茨城県笠間市涸沼前川)

「涸沼前川の思い出」

いつのこと？： 小学生時代

どこの川？： 涸沼前川(茨城県笠間市)

こんにちは。白川研究室所属の戸田です。私は少年時代の川に関する思い出についてお話しさせて頂こうと思います。

私の故郷、茨城県笠間市を流れる涸沼前川は涸沼へ注ぐ那珂川水系の支流であり、涸沼の数 km ほど手前で 1 級河川である涸沼川へ合流します。

小学校の通学路が涸沼前川沿いにあった私は 6 年間をその流れと共に育ちました。涸沼前川は小さな川でしたが四季折々の豊かな表情を見せてくれました。春には菜の花が風に揺れ、夏にはホタルが飛び、秋にはガマの群落が穂から綿毛を飛

ばしていました。冬の朝、薄氷の張ったため池に踏み込んでずぶ濡れになり 5 歳年の上の G 君に小学校までおぶってもらった時の温もりは今も記憶に残っています。

そんな涸沼前川での思い出は数え切れません。上級生にけしかけられてアオダイショウを掴み噛まれ大泣きしたこと、初めて買ってもらった自転車で堤防上の農道からハンドルを取られて水面に突っ込んだこと。全てが私の少年時代を彩る断片です。

中でも最も心に強く刻まれているのは H 君と過ごした日々です。H 君は近所の同級生で、登下校班が改編され私が彼の班へ移った小学校 3 年生から親しく過ごすようになりました。H 君はあまり小学校に馴染めていなかった私にとって初めてできた親友と言える存在であり、放課後は涸沼前川や農業用水の水路でザリガニやオイカワなどの水生生物を捕まえるのが私たち 2 人のルーティンでした。午後の陽光が差し込む星の宮橋の下のまどろみや別れ前の川面に映る西日の眩しさ、晩秋の霜柱を踏む音を今でも情感豊かに思い出すことができます。あの川は当時の私の世界の全てであり、漠然とそんな日々がずっと続くと思っていました。

しかし 1 学年 30 人弱の小学校から 1 学年 200 人を超える地元の中学校に進学すると、私たちはずっと広い交友関係を持つようになりました。違う友人グループと交わるようになり、私と H 君の心理的距離は徐々に離れていきました。それから笠間で過ごした 6 年間、私は一度も涸沼前川で遊ぶことはありませんでした。近づくことすら無意識に避けていたように思います。H 君を想起させるからでしょうか、今となってはその深層心理は私にも分かりません。H 君に関しても小学校卒業から 9 年が過ぎた今、彼がどこで何をしているか私は知らないしそれは彼にしても同じことでしょう。それでも涸沼前川は私にとって戻らない少年時代の象徴であり、今でも真夏の入道雲を見ると H 君と遊んだ日々を思い出すのです。

会議・イベント案内 (2026年1月以降) Event Information

(国内の河川・流域再生に関する主なイベント)

■ 河川環境の定量目標設定に関する勉強会

○日時：2026年1月17日(土) 14:30～17:00

○主催：(一社)応用生態工学会 東北地区会

○場所：東北大学青葉山北キャンパス

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3678.html>

■ 応用生態工学会九州地区会 九州地区事例・研究発表会

○日時：2026年1月19日(月) 9:30～17:00

○主催：(一社)応用生態工学会九州地区会

○場所：九州大学西新プラザ、web配信併用

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3683.html>

■ 第5回北海道の応用生態工学 全国大会の発表を札幌でも その4

○日時：2026年1月23日(金) 10:00～17:00

○主催：(一社)応用生態工学会 札幌

○場所：北海道大学地球環境科学院 D201

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3680.html>

■ 第二十一回「外来魚情報交換会」

○日時：2026年1月24日(土)・25日(日)

○主催：琵琶湖を戻す会

○場所：キラリ草津(草津市立市民総合交流センター)6階(大
会議室)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3672.html>

■ ネイチャーポジティブナショナルフォーラム～山・里・川・海での 挑戦と協働～

○日時：2026年1月31日(土) 9:00～18:00

○主催：IUCN日本委員会、東京大学農学部

○場所：東京大学弥生キャンパス 弥生講堂

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3685.html>

冊子等の紹介 Publications

■ はじめての魚の居場所づくり vol.2



【お気軽にお問い合わせください】

この冊子は、小さな自然再生のハンドブックとして、魚にとって大切な場所について理解し、魚の居場所づくりに取組む際のヒントを分かりやすくまとめたものです。

全国の水辺の小さな自然再生の担い手の皆様にとって更なる意欲と活力につながり、地域に根差した川づくりの更なる推進に寄与すれば幸いです。

→ダウンロードページはこちらから

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/375>

• 制作 :

滋賀県立大学大学院

(泉野珠穂・安田希亞良・瀧健太郎)

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

• 発行 :

滋賀県流域政策局、

滋賀県立大学大学院流域政策・計画学研究室

公益財団法人リバーフロント研究所

• 発行年月 : 2024年8月

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF茅場町ビル7階 (公財)リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3861 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>